

老人福祉
ふれあいタウン

シルバーエリア



（元日の清々しい朝、遙か
彼方に鳥海山を望む）
やすらぎと「亥」並みの元気
を願う。

雪で明けた新年。「冬來たりなば春遠からじ」。暦ではまもなく春。しかし、冬はこれからが本番。野山では動物たちが深い雪の下で冬の眠りを貪っている。

エリアでは冬でも「活き活き学園」が活発に行われている。これから雪祭りも行われる。エリアは一年中活動している。

「乙亥」の始まり、健康とやすらぎと「亥」並みの元気を願う。

乙亥（きのと・い）



第 12 号

秋田県社会福祉事業団
秋田県南部老人福祉総合エリア

頌 春

年頭のあいさつ



管理 者

佐々木 盛輝

られ、総合的なサービスが可能になるように、職員ともども、汗する所存でございます。

このような中で、本年は特に「福祉」を感じ、地域のニーズを知り、自分が地域で何ができるかを実感していただく福祉セミナーへの入門対象も、昨年の高校生や、一部企業の方々のみに止まらず、さらに公務員等へと拡大して研修機能を高めるとともに、地域福祉推進の拠点としての位置付けを明確にしたいと存じますので本年もよろしくご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

新年明けましておめでとうございまます。

年頭に当たり、所感を申し述べさせていただきます。

地縁共同体・共生・共存することころ、即ち地域とともにある当エリアが歩みはじめてから、県内外を問わず、諸外国からも、国立医科大学長をはじめとする医学関係者、政府委員、議員、行政関係者、評論家、解説者、福祉団体の方々の視察を受けましたが、その方々の述べられた印象の共通点は、「従来の日本の社会福祉は、この生、共同体の中から、社会

新年明けましておめでとうございまます。

的弱い人間を分断し、隔離、収容してきた」しかし、「このエリアは街に近く、人びとの出入りする空間があり、しかも質の高い生活を楽しめる場所としての施設に切り替えられ、施設そのものが地域センターとしての役割を果している」と他に先んじた本県の構想とそのすすめ方に高い評価を得たことがあります。

当エリアの持つ機能は、ケア、カウンセリング、研修実習、交流、情報提供の五つに要約されますが、これらを受けてこれらがそれぞれ分断されることなく、有機的な連携が深め



親子で創作活動

「チャレンジ・ザ・冬休み開催される！」

平成6年11月21日から1月14日かけて行われた「チャレンジ・ザ・冬休み」には、県南三市三郡を中心に親子・祖父母の計613人が参加し、熱心に創作活動を行った。この「チャレンジ」教室は児童の夏休み・冬休みに工芸アート創作活動を行い、「お年寄りへの思いやり」、「福祉・ボランティアの心を育む」、又「世代間の交流を図る」ことを目的として平成5年度の冬休みから始まった。

3回目の今回は「陶芸」、「木工」、「工芸」、「クラフト」、「料理」の5教室で計26回行われた。

陶芸教室



木工教室



工芸教室



クラフト教室



料理教室



こうして平成6年度のチャレンジ教室が終了したが、次回「夏休み」を楽しみにしている人も多く、内容を更に充実させて実施していきたい。

ぎり、かなづちが初めてといふことで、最初はぎこちなかつたが次第に慣れ、作品が仕上ると「むずかしかつたけど楽しかった」と満足した様子だった。

ス・イ、はそれぞれの家庭でオリジナルキャンドルに火が灯ったことだと思います。

色をつけて完成です。目前に「ばらの花」が咲いた瞬間に「ヤッター！」と感激している人が多かったです。

陶芸教室は最も多く、9回行われ288人の参加者が、皿や茶碗、怪獣など思い思いの作品に取り組んだ。形が整うにつれ、次第に緊張も解け和やかな雰囲気で行われた。完成までは二週間位かかるのだが、待ちきれない様子だった。陶芸教室には生きがい創作館で活動しているエリアの入居者、利用者も数名が手伝ってくれた。子供達は話しかけたり、手を添えて手伝つてもらつたり樂しそうに交流していた。

木工教室は6回行われ、ティシュー・ボックス・小物入れなどの製作に100名近い参加者があつた。大半の人はのこ

工芸教室はクリスマスを前に季節に合わせたキャンドル作りを行い、3回で計66人が参加した。色とりどりの、また形も様々なキャンドル作りに皆張り切つて挑戦したが、思うようにいかず何度もやり直す光景も見られた。クリスマス

料理教室は子供だけの参加とし、4回で64人がそれぞれグループに別れ、ロールキャベツ、ブディングなどに挑戦した。食事はマナーを学びながらナイフやフォークを使い別室の「レストラン」で「ちょっとおすましランチ」をいただきました。

料理教室は子供だけの参加とし、4回で64人がそれぞれグループに別れ、ロールキャベツ、ブディングなどに挑戦した。食事はマナーを学びながらナイフやフォークを使い別室の「レストラン」で「ちょっとおすましランチ」をいただきました。



いよいよ平成七年、亥年がスタートした。見渡す山々は、雪化粧して辺り一面銀世界。新年を祝つて一月十三日、恒例の「新春お楽しみ会」が開催された。新春を喜び、エリア利用者の皆さんに健康で潤いのある生活をという願いを込め、午後のひとときを民謡と手作りの演芸で楽しんでいただいた。

その後、職員のかくし芸や珍芸が数々披露された。

会場を割れんばかりに爆笑させた二人羽織、「春をみご



最初、民謡日本一の高橋清さんは、力強い唄声で民謡を披露していただいた。利用者の皆さんは、一曲一曲に耳を傾け面白いトーキーに腹をかかえていた。



とに表現した南京玉すだれ、プロ顔負けの衣装と息の合った迷演技で観客の目を引き付け夢中にさせた染の助、染太郎。観衆も演技者と一緒にになって拍手喝采。身も心も活き活きリフレッシュ、窓の向うの寒さを吹き飛ばすほどの笑顔が、会場一杯に広がった。

最後は、コーラスクラブの皆さんに会場の利用者も加わり、昔なつかしい日本の名歌の齊唱で幕を締めた。冬や雪にちなんだ曲を歌いながら確

れを感じた。

さて、最近と今後の行事を紹介します。一月には「新

新春お楽しみ会

新年明けましておめでとうございます。

当子どもと老人のふれあいセ

ンターは皆さんに喜ばれる子ど

もと、父母、祖

父母を交えての

多彩な行事を実

施しています。

他町村から来所

する皆さんから

「おらほにも、

こんなのあれば

いいな」と羨ま

しがられていま

す。

他の行事を真

似して行うこと

は簡単だが、此所では、見る、

聞く、造るそして心のふれあ

いにも着眼しながら特徴があ

る行事を心がけています。

子どもと老人のふれあいセンター



書初大会」、「ちびっこ綱ひき、縄とび大会」、「子どもと老人のふれあいゲートボール大会」など新春にちなんだ行事が行われています。二月には「竹とんぼ木筒作り」、「パンバービリヤード大会」「親子映写会」が行われる予定です。また、三月には、「親子ドッヂボール大会」、「子どもリーダー養成講習会」が計画されています。

皆さんの参加をお待ちして

おります。詳しくは、当セン

ターまで。

私達職員は「来る人をあ

たかく、行かれる人には又ど

うぞ」の気持を持って頑張って

ています。

白寿園

もちつき大会

リハビリってなに？

作業療法について

白寿園で、昨年の暮に恒例の「もちつき」が行われた。もちつきは昔から正月のお祝いのために行つた行事だが、最近では電機製品の普及でうほとんど見られなくなつた。

また、今ではお供えをスーパーで安く買うことができるであつて、もちつきを行う家庭も大変少なくなつてきているようです。

入居しているお年寄りから

いろいろ教えられたが、昔ながらのもちつきを行つた。

さまざまなか意見が飛び交い、平鹿式、仙北式、雄勝式、由利混合式のぎやかなもちつきになつたが、



皆の「よいしょ、よいしょ」の掛け声と協力で見事な餅がつき上がった。

つき上がった餅から、お正月用のお供えが作られた。

お年寄りの皆さんは、新しい年が健康で楽しい一年となるよう祈りながら心をこめてお供え作りをしていました。

新しい年は亥年です。猪突猛進とはいひないが、一步一歩踏みしめながら良い一年となるようです。

入居しているお年寄りから

対象となる人

（作業療法とはなにか）

○身体障害者（脳血管障害、脊髄損傷、手の外傷など）

○精神障害者（精神病、神経症、精神発達遲滞など）

○老年期障害（関節障害、痴呆、パーキンソン病など）

○発達障害（脳性麻痺、二脊椎、先天異常など）

○身体機能の維持、改善

○高次脳機能（認知）の改善

前号では、リハビリテーションとは専門家のチームのもとに「人間らしく生きる権利の回復」であり、理学療法とは基本的動作能力の回復や維持、悪化予防のために、運動

- 社会生活適応能力の改善
- 心理面の改善
- 日常生活動作能力の改善
- 職業前評価と訓練
- 患者、家族、職員の教育
- 作業活動（革細工、陶芸、織細工、手芸、絵画など）
- 日常生活の身辺動作の訓練
- 障害を代替する道具（自助具）の製作
- 福祉機器利用の指導
- レクリエーション・ゲーム

などを行うのが作業療法です。

リハビリテーションのイメージは主に理学療法の分野ではないだろうか。しかし、リハビリテーションは、理学療法と作業療法が一体となつてまた、前号のリハビリテーションチームが協力し合つて成り立っています。



作業療法士は脳卒中など老人



■施設使用料

一日中楽しめる！

区分		利用の単位	利用料	
宿泊	小学生		夏期 (5月~10月)	冬期 (11月~4月)
	一般	一人一泊につき (素泊まり)	2,060円 2,700円	2,260円 2,900円
休憩	小学生	一人につき	260円	460円
	一般		530円	730円
休憩回数券 (六枚券)	小学生		1,290円	各1枚使用毎に 200円加算
	一般		2,700円	
会議室		1時間につき	1,100円	1,300円
研修室		1時間につき	1,100円	1,300円
視聴覚室		1時間につき	1,100円	1,300円
屋内ゲートボールコート		1時間につき		400円
テニスコート		1時間につき		400円
屋内プール	一般	1回につき	500円	
	高校生	(1回目) (10:00~13:00)	400円	
	3歳児から 中学生まで	(2回目) (13:30~16:30)	200円	
屋内プール 回数券 (6枚券)	一般		2,500円	
	高校生		2,000円	
	3歳児から 中学生まで		1,000円	

※宿泊、休憩等の冬期使用料には暖房費が含まれています。

また、プール利用時間(2回目)は5月から10月までは13:30~17:00です。

■ご利用の方法

コミュニティセンター・スポーツ施設

開館時間 9:00~17:00

休館日

毎週月曜日と12月29日~1月3日まで
非営利ハビリセンターと音楽老人介護センターは
毎週日曜日、および8日と12月25日~1月3日まで

ご利用申し込み

秋田県南部老人福祉総合エリア

電話 0182(26)3880(代)

■交通のご案内(略図)



第6回 南部シルバー エリア雪祭り

とき・二月十一日(土)

午前十時三〇分より

ところ・南部シルバーエリア

雪中宝探し・ウォークラン
り・輪投げ・ボウリング・
ウルトラクイズ・もちつき・
甘酒コーナーと沢山の催し物
を用意しています。
みなさまの参加をお待ちし
ております。

今年度から開始された
「福祉入門セミナー」には、
たくさんの中高生や一般企
業などの方が参加してい
ます。
このセミナーは、福祉や
介護に興味をもつて、いろ
いろな世代や職場を対
象に開催してきました。

しかし、これから社会
では「福祉」を避けて通
ることはできません。興味が
ない人でも一度はどんなも
のか体験し、「福祉」を感
じてみてください。
問い合わせは、当エリア
まで。

福祉入門セミナー